



NOBEOKA
ART EXHIBITION

市 72nd
美展

いちばん近いアート展

入賞・入選
目録

特 選

延岡市長賞

待ってました！この時を。(油彩)

野村幸枝



※野村幸枝さんは、今回で三度目の特選を獲得されたことにより、無鑑査となりました。

講 評

不安だらけの暗い今日、何を求めれば良いのか…。自分の道を歩くのに、他人の目なんか気にしない。楽しく、悠々と、「吾ゆく道を吾はゆく」とにかく個性的で、明るく、楽しく他を圧してひととき目立つ作品であり、悟りの境地にさえ思える。

準特選

延岡市教育長賞



あなたの感情に映る具象(アクリル)

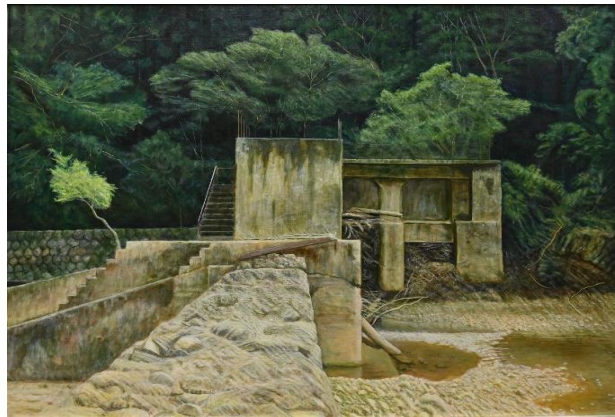
高萩泰

講 評

比較的に小さな画面にも係わらず、美しく透明感のある不思議な空間に引き込まれてゆくようで、見る人の目を捉えて離さない。

準特選

延岡市文化連盟会長賞

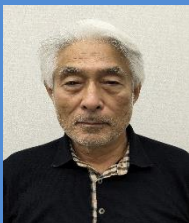


溪・出水の跡(油彩)

上山晴久

講 評

見るからに常に受賞を重ねるような安定した仕事であり、物の質感や空気感や画面構成力も抜群。写実描画として、静かな時間の流れや、さわやかな空気感が見事に表現されている。



絵画部門審査員

堀 研 (4回目)
 広島市立大学名誉教授
 画家 (行動美術協会会員)

入賞作品

無鑑査

奨励賞	市原哲郎	時にゆだねて(水彩)	八木隆幸	まるの詩・2022-11-07(油彩)
	旭化成(株)延岡支社長賞			
奨励賞	甲斐陽向	平和ボケ(油彩)	米良俊男	MOON DANCE(アクリル)
	延岡市医師会長賞			
奨励賞	河野壘	生命の樹(油彩)		
	延岡農業協同組合代表理事組合長賞			
奨励賞	アーナー恵子	風になる(アクリル)		
	延岡市美術展覧会実行委員長賞			
努力賞	甲斐トシ子	ふるさとの実り(アクリル)		
プラチナ賞	田口伸一	ふるさとの春：追内町の夜景(アクリル)		

◆ 入選者

池田見一	阿吽	油彩	福島千明	白龍	パステル
岡村恵子	龍門司坂(薩摩街道)	水彩	三谷文男	皐月	油彩
甲斐喜美枝	想い	油彩	南義信	初夏の南阿蘇	パステル
川内寧彦	幾星霜	水彩	養毛覚	Nobeoka Buildingー夢の中に	アクリル
木村マシ子	赤い瓶	油彩	宮井久美子	高千穂線跡を行く	水彩
久保ケイ子	行滕山遠望	油彩	森本洋通	黄昏	アクリル
窪田利重	台風一過の金ヶ浜園地	油彩	吉田千代子	梅雨の静寂	水彩
佐藤タミ子	心の花々		陸丸敦子	阿蘇遠望	油彩
眞田昌良	牧水、野口遵が見つめる先は、延岡の今！	水彩			
首藤孝子	ANTIQUE DOLL(過去、現在、未来)	油彩			
白石幸代	IN MALAYSIA	油彩			
高山好二	鮎やな	水彩			
田中千代子	生きる	パステル			
長友幸子	たくさんの想いにささえられて	アクリル			
長沼弘三郎	天真爛漫	油彩			
林弘之	家路	アクリル			
日高すみ子	台風接近	油彩			



特 選

延岡市長賞

雲海(陶芸)

黒木英勝

講 評

ろくろを用いたシンプルな造形の中に、釉薬の多彩な表現がマッチした秀作です。厚くかかった白い釉薬の縮みを活かしながら、さらに金などの色を加えることで複雑さと奥行きが増しています。作品から作者の深い世界が伝わってくるようです。

準特選

宮崎県教育長賞

てんとう虫(切り絵(屏風))

古川友江



講 評

作者の高い技量とアート性を感じるインパクトのある作品で、文句なしの受賞です。さまざまな材料や技法を融合させながら上手く取り入れており、色彩や形の対比も見事です。



彫刻・工芸部門審査員

泰田 久史 (3回目)
宮崎学園短期大学教授
日展会友

入賞作品

無鑑査

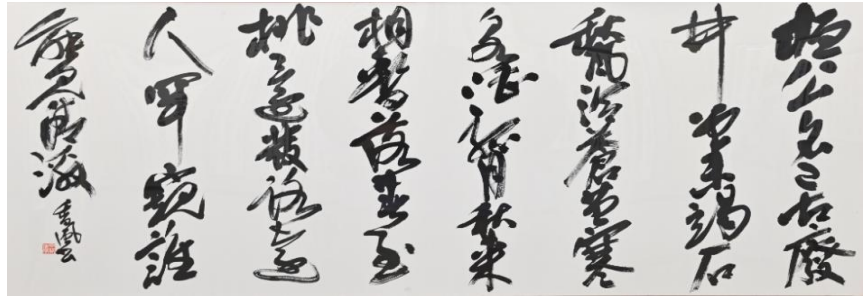
奨励賞 宮崎日日新聞社賞	江並直子	花灯り(陶芸)	中村有子	金彩幾何器「多様性の調和」(陶芸)
奨励賞 延岡観光協会賞	川崎えつ子	早春「椿と雀たち」(刺繍)	芝行則	ひと休み(彫刻)
奨励賞 延岡市美術展覧会実行委員長賞	壺岐陽子	風(友禅染)	武田弘子	私の心もよう(友禅染)
努力賞	工藤武人	古灯笼(陶芸)	原辰義	朝陽(剪画)
プラチナ賞	越智理恵子		甲斐卓雄	静寂(彫刻)
	雨の花群ら(鎌倉彫漆自塗り)			

◆ 入選者

秋本富美子	花かご	竹細工
上村洋子	黎明	陶芸
甲斐宣興	旧帝国ホテル	切り絵
甲斐富美子	梅雨の晴れ間に...	パッチワーク
甲斐正行	景清	彫刻
甲斐義晴	糸つむぎ(竹細工)	竹細工
木村喜久生	おもいででの納屋と風呂	ミニチュア
佐藤タミ子	夢題-I	木工芸
関武司	鉄赤結晶黄透明流しかけ	陶芸
高橋ユキミ	Piece of Peace II (ずっーと)	パッチワーク
田中孝一	ヤジロベエ③	金工芸
堤和子	華巡	パッチワーク
温水輝子	さくら	パッチワーク
野間啓子	押し花アート 桃源郷岬の紫陽花に魅せられて	押し花
濱田憲明	春夏秋冬	絵付
松田美智子	光の彼方へ	パッチワーク
宮尾徹	水車小屋	ミニチュア
森福子	爽やかな夏の雪	ちぎり絵

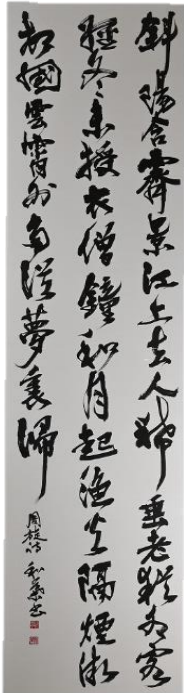
書道部門

特選
延岡市長賞
桓公井
甲斐かおり



講評

行草体は、明清調を基調として雄大さに存在感あふれる線があいまって、匂い立つ風韻ただよう力作



準特選

延岡市教育長賞

暮景

篠原和子

講評

冴えた線條、美しく流麗さの中に凜とした躍動感が魅力的な秀作

準特選

延岡市文化連盟会長賞

まどちかき

小田千穂

講評

仮名特有の文字の連綿が自然と働きながら線の潤渴をうまく使い全体に抑揚が見られ奥行を感じさせる秀作



書道部門審査員

岩田 海道 (3回目)

日展会員

読売書法会常任理事、西日本書美術協会理事長

入賞作品

無鑑査・招待作家

奨励賞 入山万優

延岡市議会議長賞

臨 小島切

無鑑査・招待作家

山浦秀子

良寛和上のうた

奨励賞 吉岡陽子

延岡市医師会長賞

古詩

無鑑査・招待作家

西村寿洋

天門山

奨励賞 上野和子

センコー(株)延岡支店長賞

初夏の

無鑑査

尾崎真人

漢語

奨励賞 松田栞音

ケーブルメディアワイワイ賞

王維詩

無鑑査

城戸雅子

竹取物語

努力賞 植田紘士

贈徐伯臣補奉化令

無鑑査

西村亜希子

懼讒

プラチナ賞 甲斐睦子

鳳臺曲

招待作家

大塚洋子

新安道中

招待作家

原田さゆり

高青邱詩

招待作家

藤高祐太朗

雲光

◆ 入選者

飯干朗 霊墟山
 伊藤由美子 ゆく秋の他一首
 上杉秀子 東魯門泛舟二首
 植野訓 臨 蘭亭叙
 植野洋一 蘇東坡詩
 牛迫孝子 元稹詩
 岡田雅子 李賀詩
 岡村公子 牛渚磯
 小野静 夜過江上
 甲斐千尋 臨 吳昌碩
 河内真弓 出清遠峽野望
 城戸裕行 傅山の芸術について
 熊谷菜穂子 秋興
 小坂千代子 張遷碑臨書
 圖師杏子 誠司の詩 ナミダの海越えて
 田口智子 恋すてふ
 時任愛菜 臨 牛橛造像記

長尾奏菜 臨 傅山
 原田佑香 蘆溝曉月
 平野優子 廬山東林寺夜懷
 山内美智子 閨隣家理箏
 山田祥子 賀鑄詩
 山本加代 李太白集卷感遇擬古十二首
 山本優莉香 臨 魏靈藏造像記
 吉田美紀 夔府孤城落日斜
 渡邊康子 李太白集



写真部門



特選
延岡市長賞

※甲斐直志さんは、二度の特選と第60回記念特別賞を獲得されたことにより、無鑑査となりました。



威嚇

甲斐直志

講 小鳥が餌を巡って喧嘩している一瞬が見事にキャッチされている。鳥の写真は多い
評 が、その一瞬がこのように形よく纏められている作品を見ることはあまりない。作者の意図した狙いを超え、偶然に得られた成果とはいえ、第一印象でその新鮮さが目をひく野鳥写真である。

準特選

宮崎県知事賞



水面のArtist

村上保予

講 水面を泳ぐアメンボを波紋の中に配置して、全体が美しい
評 構成となっている。背景の波紋の形などに不自然さが見られるものの、この場合は生態写真が目的ではないので、少々レタッチ作業が加わっていたとしても全く問題はない。作者が意図するイメージが凝縮された、完成度が目を惹く作品といえる。

準特選

延岡市教育長賞



ごきげんよう

萩原裕史

講 猫との出会いの一瞬を程よいサイズで切り取ったス
評 ナップだが、2匹の猫が形良い構図で纏められている。好奇心に満ちた目が、カメラ目線ではなく、何かをじっと見つめている表情が良い。



写真部門審査員

栗林 慧 (4回目)
生物生態写真映像作家

準特選
延岡市文化連盟会長賞



瞬光
川端章

講評 瀑布を写したものだが、単なる風景写真では終わらず、流れ落ちる水とそれに合わせたように差し込む木漏れ日の光芒が合わさって、一見して見る人の目を不思議に思わせる効果がある。滝の下に配置された人物により、スケール感が描出されているところも良い。

準特選
延岡市文化連盟会長賞



夕暮れの白鷺
前田徳子

講評 4羽の白鷺のそれぞれ異なった動作の姿が一つの画面にうまく配置されて優れた作品となっている。このような全身が白色の被写体の場合、ともすると露出オーバーとなってしまうが、そのあたりの処理も適切である。

入賞作品

無鑑査

奨励賞 赤池泰男
延岡市議会議長賞

可憐

高橋ミサ子

春

奨励賞 後藤純子
旭化成(株)延岡支社長賞

春風

後藤司郎

天高く

奨励賞 阿部美香
延岡商工会議所会頭賞

夢のハイヤ大橋

甲斐靖一

初夏の溪谷

奨励賞 甲斐桃華
夕刊デイリー新聞社賞

早春の水面

奨励賞 川越洋治
延岡市西臼杵郡薬剤師会長賞

盛り沢山なフルーツ店

奨励賞 長友あけみ
清本鉄工(株)社長賞

青春のモーメント

奨励賞 小野泰弘
延岡市歯科医師会長賞

運命の糸

奨励賞 長友道生
延岡市美術展覧会実行委員長賞

干潟夕景

努力賞 後藤秀彦

よいしょ よいしょ

プラチナ賞 松田菊治

力走

◆ 入選者

芥美奈子	胸弾む新年
浅井亜由美	宝物
飯田かおり	はじめての水遊び
池田晃二	神馬
伊東英一	見張ってるで!!
植野浩人	アンニュイ
内倉政子	池面
胡元一夫	散る桜残る桜も散る桜
大川内かつ子	晩秋
大津由吏江	初夏の小川
岡崎宏之	厳かに走る
岡野勉	秋空の古墳
押方徹	祭り化粧
小田中等	face
甲斐孝一	火垂の墓
笠村陽一	陽降り注ぐ溪谷
金子貴洋	黄泉への誘い
亀居妙子	朝のごあいさつ
川崎由美子	星降る棚田
川野直記	青界に誘われて
河野康哉	間垣の里
菊池貢	霧氷
久保 徹	棲家
兒嶋友香	頑張れ！日曜日の新米パパ！
古谷信行	出会の時に
小松清春	ダイビングキャッチ
酒井佳紀	日向岬に架かる天の川アーチ
酒井義満	天空の桜
佐藤孝夫	夜明けのランデブー
佐藤卓志	奇岩
島田真由美	花筏
白谷俊一	森の妖精に包まれて
鋤本勝晃	妖光
杉本武揚	直線Nと曲線nの接点
雀ヶ野秀憲	イベントの日
多田綾子	春風
田上誠	bar
段ノ上三男	清流に舞う
千葉雄一	常光寺の滝(冬)
角森立子	夢幻

戸高 一	初舞台の子
富山隆志	竹林の姫
新名光子	けあらしの朝
浜田真由美	田舎の英雄(ヒーロー)
福川原敏憲	神里降臨
藤田一明	ついでむ
松尾香代子	陽だまり
松木喜美子	ベストポジション
宮崎金男	ひととき
宮本哲伸	カメラ目線
村上稜真	夕焼けのリフレクション
山田悦子	境内にホテル舞う
吉岡憲生	take off

デザイン部門

準 特 選
延岡市教育長賞

※本年は特選の該当はありませんでした。



泣いているのは「涙」ではない(グラフィックデザイン)

高萩泰

講評 インパクトある軽快なタッチのイラストとその中を流れるような細かい文字の配置、ロゴタイプ風のタイトル文字、大小の丸のパターンが効果的な力作です。周りに黒ベタを配置したことで広がりを止めてしまったことが残念です。

入賞作品

無鑑査

努力賞

財前洋子

感謝(グラフィックデザイン) 木田 柊子

鼓動-発生の道尊-(グラフィックデザイン)

入選者

Emi@ 苺いち絵 滝へ、行こう！(グラフィックデザイン)
城尾凜 Dream(グラフィックデザイン)
舘山幸雄 I LOVE MARILYN(グラフィックデザイン)
福嶋春月 my(イラストレーション)



デザイン部門審査員
龍 由美子 (3回目)

久留米連合文化会デザイン部副部長

審査講評
【絵画部門】

講評

いつの時代でも絵を描いたり、創作活動をするのは機械やロボットではなく人間である。人間には感情があり、“喜怒哀楽”感動する心がある。しかし、便利さを求め、何でもかんでも機械化してゆく現在、手作りの味やその温もりを忘れていないだろうか…。「自分の絵」を描くには、他人の目など気にする必要はない。何が描きたいのか、それをどのように表現したいのか…。今は未熟でも技術だけなら後からついてくる。単に表面的な形を写すだけの“絵空事”に終わらず、深く深く、自分の道を追求するしかない。理屈抜きに、良いものは良い。そして、“感動”こそ生きる証です。このたび、出品作品を拝見しながら、おこがましくも審査をすることの苦しさと同時に、真摯な姿勢に感動を覚えた。

野村幸枝さんの「待ってました！この時を」の、他をかえりみず、独自の道をつらぬく力強い個性の前では、“技術的”な小さなことなど吹き飛んでしまう。逆に、上山晴久さんの「溪・出水の跡」は完璧な技術力に裏打ちされた写実絵画として感動する。中でも、17歳の甲斐陽向さんの「平和ぼけ」はロシア・ウクライナ問題を敏感に捉え、ストレートに表現していることにエールを送りたいし、油絵としての画面も魅力的で、将来を期待したい。

特選作品(延岡市長賞 野村幸枝「待ってました！この時を」)

不安だらけの暗い今日、何を求めれば良いのか…。自分の道歩くのに、他人の目なんか気にしない。楽しく、悠々と、「吾ゆく道を吾はゆく」とにかく個性的で、明るく、楽しく他を圧してひととき目立つ作品であり、悟りの境地にさえ思える。

準特選作品(延岡市教育長賞 高萩泰「あなたの感情に映る具象」)

比較的にな小さな画面にも係わらず、美しく透明感のある不思議な空間に引き込まれてゆくようで、見る人の目を捉えて離さない。

準特選作品(延岡市文化連盟会長賞 上山晴久「溪・出水の跡」)

見るからに常に受賞を重ねるような安定した仕事であり、物の質感や空気感や画面構成力も抜群。写実描画として、静かな時間の流れや、さわやかな空気感が見事に表現されている。



絵画部門審査員

堀 研

広島市立大学名誉教授

画家(行動美術協会会員)

審査講評

【デザイン部門】

講評

今回の出品数は少なかったものの、それぞれ個性的なハイレベルの作品でした。

私はデザイン作品の制作にあたり大切にすべきこととして、観てくださる方に何かを伝えることができるかが重要だと考えています。デザインの技術云々より、伝えたい気持ちが表現されているか、それを観る人に伝わっているかをベースとして観させていただきました。

無監査の[鼓動-発生の道尊-]は勾玉を柔らかな水彩画調タッチで表現したのに対し、背景を赤、緑、黒のベタにしたインパクトある作品です。割れ部分の凹みが伸びやかな人をイメージさせるフォルムになっていて、発想が面白い作品です。

準特選の延岡市教育長賞[泣いているのは「涙」ではない]はインパクトある軽快なタッチのイラストとその中を流れるような細かい文字の配置、ロゴタイプ風のタイトル文字、大小の丸のパターンが効果的な力作です。周りに黒ベタを配置したことで広がりやを止めてしまったことが残念です。

努力賞の[感謝]は出雲大社拝殿の画像アングルと、白抜きの手書きの書との配置とバランスがよく、シンプルながらも思いがストレートに伝わる秀作です。

[Dream]は雲をとっても細かいタッチで描かれていて、表現力が素晴らしいです。ただ惜しかったのはレイアウトで、左右と下の空きを同じにする、もしくはあえてランダムに配置する、背景に細いラインを入れる等々、あと一步の工夫があればグッと良くなると思います。次作に期待します。

[滝へ行こう!]は龍泉寺の滝と不動明王の画像が素晴らしく、タイトルの入れ方も楽しい作品ですが、小人のキャラクターの過度の画像編集が逆効果となっていました。

[I LOVE MARILYN]は四角のドットで描かれた点描風のイラストは根気強く作業されたもので苦心の跡がうかがえますが、あと少し頑張って影の部分を増やして立体感を強調すれば、さらに良くなるでしょう。全体の六角の網状パターンは薄くするか無くてもいいのではと思います。

[my]は唯一高校生の出品作で、明るく楽しいパーツで今風の女子を描いたもの。ベースのイラストのタッチなど独特の表現のできる方です。今後大いに期待しています。

審査会の前日は、折しも延岡駅前商店街では3年振りに七夕まつりが開催されていました。まつりを盛り上げようとするあらゆる世代の市民の皆さまの熱い想いに出会い、延岡市を愛してやまない気持ちに感動しました。その延岡市を想う気持ちを表現された作品の出品も今後期待しています。



デザイン部門審査員

龍 由美子
久留米連合文化会デザイン部副部長

審査講評

【彫刻・工芸部門】

講評

72回目という歴史ある美術展の審査に緊張感をもって臨みました。彫刻・工芸部門は、純粋アートから生活の道具に至るまで幅が広いのですが、特に延岡市美術展では多種多様な作品が出品されていたため、慎重に時間をかけて審査を行いました。

まず申し上げたいのは、つまらない作品や駄目な作品は一点もなかったということです。どの作品にも思いがこもっていて、同じ作り手として気持ちが変わるだけに、入落を決めるのにかなり悩みました。

厳しい選考枠であるため、落とさざるを得なかった作品が多数ありました。そしてその中には、他の美術展では高い評価が予想される作品もあり、心苦しく思いました。

時間をかけて作品に向き合い、出品された方のご努力に敬意を表するとともに、延岡市美術展に今後も継続して出品いただけたらと思います。

特選 雲海

ろくろを用いたシンプルな造形の中に、釉薬の多彩な表現がマッチした秀作です。厚くかかった白い釉薬の縮みを活かしながら、さらに金などの色を加えることで複雑さと奥行きが増しています。作品から作者の深い世界が伝わってくるようです。

準特選 てんとう虫

作者の高い技量とアート性を感じるインパクトのある作品で、文句なしの受賞です。さまざまな材料や技法を融合させながら上手く取り入れており、色彩や形の対比も見事です。

奨励賞の「花灯り」は丁寧に作られた灯りの作品です。下部の処理や花のモチーフの工夫などでさらに良くなると思います。「早春『椿と雀たち』」はひと針、ひと針と時間をかけ作られた姿勢に頭が下がります。立体的な試みもありました。「風」は色彩の美しい繊細な作品です。努力賞の「古灯籠」はろくろやカンナの高い技術に目を見張りました。プラチナ賞の「雨の花群ら」は高い技量で丁寧に作られた、まさに輝く作品です。

延岡市美術展の今後ますますのご発展を心からお祈り申し上げます。



彫刻・工芸部門審査員

泰田 久史
宮崎学園短期大学教授
日展会友

審査講評
【書道部門】

講評

半世紀以上続いております延岡市美術展覧会に三回目の審査に当たらせて頂き光栄に存じております。古典を踏まえ線に命が宿っているか、出品作一点一点の中から出品者の心を心として審査させていただきました。

特選 甲斐かおりの行草体は、明清調を基調として雄大さに存在感あふれる線があいまって、匂い立つ風韻ただよ力作

準特選 篠原和子 冴えた線條、美しく流麗さの中に凜とした躍動感が魅力的な秀作

準特選 小田千穂 仮名特有の文字の連綿が自然と働きながら線の潤渇をうまく使い全体に抑揚が見られ奥行を感じさせる秀作

プラチナ賞 甲斐睦子 中国の古代文字(トルファン古写本)を表現の素材とした作者独自の運筆で揮毫した力作



書道部門審査員

岩田 海道

日展会員

読売書法会常任理事、西日本書美術協会理事長

審査講評

【写真部門】

講評

当美術展の各部門の中でも、出品作品数が群を抜いて多かったのが写真というのは、それだけ写真の愛好者が多いということであり、大変喜ばしいことである。応募された作品全体を見渡してみると、せっかく良い被写体を見つけて、良い構図で纏められているながら、発色が良くないものが少なからず見られたのは残念である。創作上あえてそのように表現したのならわかるが、プリントという最終仕上げの時点で色調をしっかりと出すことは、カラー作品においては最も大切なことなのである。撮影対象が多岐に及び、バラエティに富んでいるのは、多くの見る人の目を楽ませるに違いない。いずれにしても、多くの作者が被写体を求めて活動した様子が窺えるのは楽しい。

前回でも思ったことであるが、自分が思うのは、このような総合美術展の中の写真作品は、単なる写真だけの展覧会とは異なり、もっと冒険的な写実を破壊したようなアート表現に挑戦した斬新な作品があってもよいはずである。写真は合成したものは認めないといった話をよく聞くが、写真の技法を用いて芸術性豊かな作品作りに挑戦する行為は、これまでの100年の写真の歴史の中では、当初からあり、そうして作られた名作が数多く残されている。それがパソコンを用いることにより、楽に行うことができるようになった現在、それが許されないというのはおかしな話で、このような風潮を無視して創作された斬新な作品との出会いが今後期待される。

特選 延岡市長賞 甲斐直志 「威嚇」

小鳥が餌を巡って喧嘩している一瞬が見事にキャッチされている。鳥の写真は多いが、その一瞬がこのような形よく纏められている作品を見ることはあまりない。作者の意図した狙いを超え、偶然に得られた成果とはいえ、第一印象でその新鮮さが目をひく野鳥写真である。

準特選 宮崎県知事賞 村上保予 「水面のArtist」

水面を泳ぐアメンボを波紋の中に配置して、全体が美しい構成となっている。背景の波紋の形などに不自然さが見られるものの、この場合は生態写真が目的ではないので、少々のレタッチ作業が加わっていたとしても全く問題はない。作者が意図するイメージが凝縮された、完成度が目を惹く作品といえる。

準特選 延岡市教育長賞 荻原裕史 「ごきげんよう」

猫との出会いの一瞬を程よいサイズで切り取ったスナップだが、2匹の猫が形良い構図で纏められている。好奇心に満ちた目が、カメラ目線ではなく、何かをじっと見つめている表情が良い。

準特選 延岡市文化連盟会長賞 川端章 「瞬光」

瀑布を写したものだが、単なる風景写真では終わらず、流れ落ちる水とそれに合わせたように差し込む木漏れ日の光芒が合わさって、一見して見る人の目を不思議に思わせる効果がある。滝の下に配置された人物により、スケール感が描出されているところも良い。

準特選 延岡市文化連盟会長賞 前田徳子 「夕暮れの白鷺」

4羽の白鷺のそれぞれ異なった動作の姿が一つの画面にうまく配置されて優れた作品となっている。このような全身が白色の被写体の場合、ともすると露出オーバーとなってしまうがちだが、そのあたりの処理も適切である。

奨励賞 延岡市議会議長賞 赤池泰男 「可憐」

全体が美しい色合いのムードで構成されている。中心になるのは花びらの一つに乗せられた2個の水滴、その水滴の中に背後に位置する花がくっきりと写っているという憎い演出が光る作品となっている。

奨励賞 旭化成(株)延岡支社長賞 後藤純子 「春風」

桜のような満開の花が咲く林が舞台のようだが、そこに人物が配置されて、一見して見られる絵画的な効果と、全体に漂うムードあふれる描写が良い。作画効果が光る作品と言える。

写真部門審査員

栗林 慧

生物生態写真映像作家



■第72回延岡市美術展覧会 出品状況

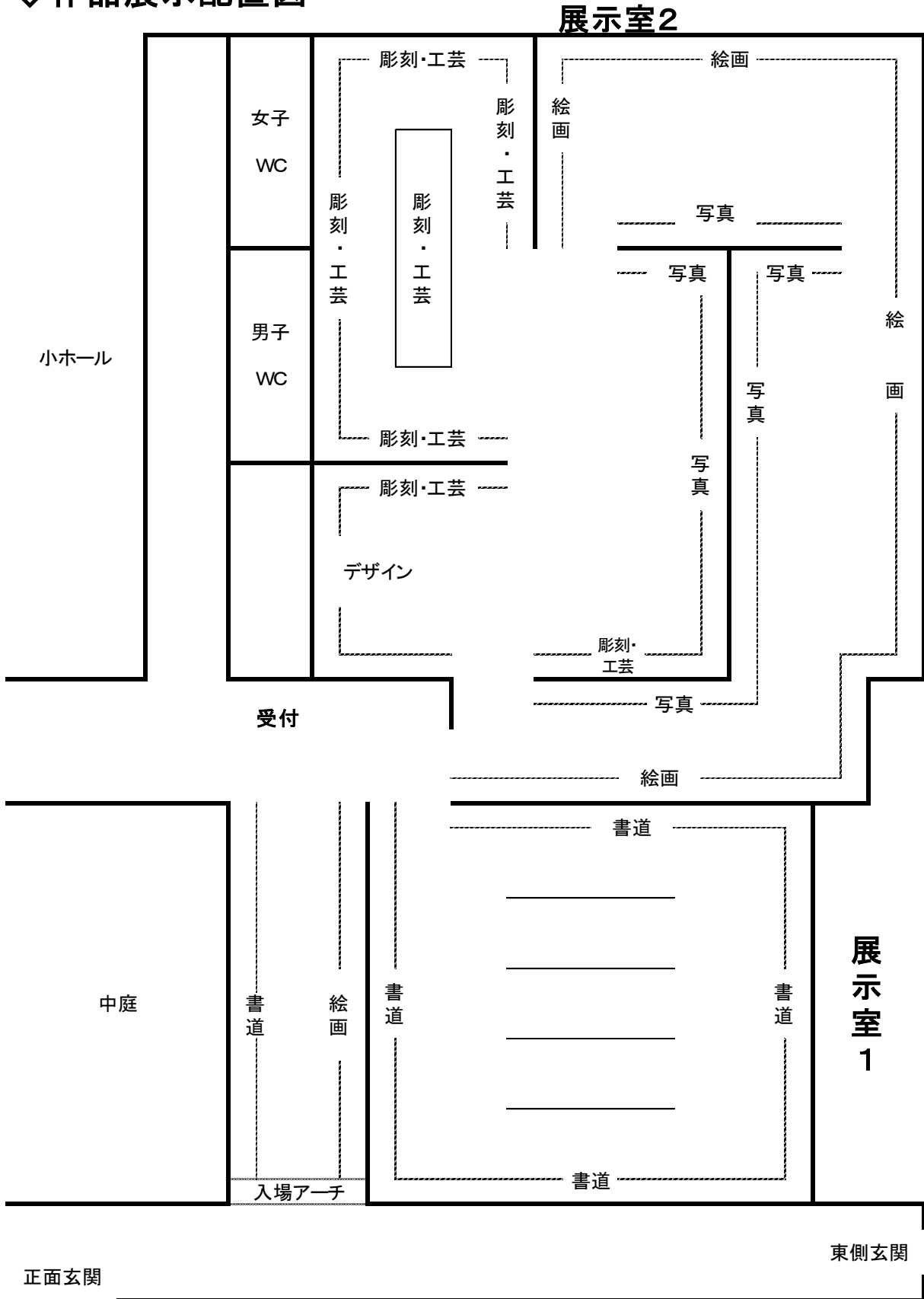
部 門	A	出品者数		出品作品数			C 招待作家 無鑑査	合計 (無鑑査等含む)		展示作品数	
		うち2点 出品者	うち3点 出品者	一般	学生	B 小計		出品者数 A+C	作品数 B+C	入賞 +入選数	無鑑査等を 加えた展示数
絵 画	45 人	8 人	1 人	54 点	1 点	55 点	2 人	47 人	57 点	34 点	36 点
彫刻 工芸	33 人	5 人	2 人	42 点	0 点	42 点	5 人	38 人	47 点	25 点	30 点
デザイン	6 人	0 人	0 人	4 点	2 点	6 点	1 人	7 人	7 点	6 点	7 点
書 道	47 人	2 人	0 人	37 点	12 点	49 点	8 人	55 人	57 点	35 点	43 点
写 真	91 人	22 人	6 人	123 点	2 点	125 点	3 人	94 人	128 点	68 点	71 点
合 計	222 人	37 人	9 人	260 点	17 点	277 点	19 人	241 人	296 点	168 点	187 点

- ◆招待作家 全国規模の公募展で、顕著な成績を残された方
- ◆無 鑑 査 延岡市美術展覧会の第25回展（改組第1回：昭和50年度）から起算して、「特選」（延岡市長賞）および、周年記念の大賞、特別賞を通算3回受賞された方

■第72回延岡市美術展覧会 賞の名称一覧

特 選	延岡市長賞
準特選	宮崎県知事賞 宮崎県教育長賞 延岡市教育長賞 延岡市文化連盟会長賞
奨励賞	延岡市議会議長賞 旭化成(株)延岡支社長賞 清本鉄工(株)社長賞 ケーブルメディアワイワイ賞 センコー(株)延岡支店長賞 延岡観光協会賞 延岡市医師会長賞 延岡市歯科医師会長賞 延岡商工会議所会頭賞 延岡市西臼杵郡薬剤師会長賞 延岡農業協同組合代表理事組合長賞 宮崎日日新聞社賞 夕刊デイリー新聞社賞 延岡市美術展覧会実行委員長賞 (50音順)
努力賞	※本市美展または他の美術展等での入賞歴は問いません。
プラチナ賞	※満80歳以上の方を対象とし、入賞歴は問いません。

◇ 作品展示配置図



■審査講評のようす



出品者のみなさまへ
この度はご出品いただきありがとうございました。
次回も力作のご出品を心よりお待ちしております。

延岡市美術展覧会実行委員会 一同

第72回延岡市美術展覧会

会 期 : 令和5年7月13日(木)～7月29日(土) 9:00～17:00
会 場 : 延岡総合文化センター 展示室1・2 ※毎週火曜は休館日です
主 催 : 延岡市美術展覧会実行委員会、延岡市、延岡市教育委員会、延岡市文化連盟
協賛・後援 : 宮崎県、宮崎県教育委員会、延岡市議会、旭化成(株)延岡支社、清本鉄工(株)
(株)ケーブルメディアワイワイ、センコー(株)延岡支店、(一社)延岡観光協会
(一社)延岡市医師会、(一社)延岡市歯科医師会、延岡商工会議所
(一社)延岡市西臼杵郡薬剤師会、延岡農業協同組合、宮崎日日新聞社、夕刊デイリー新聞社
(50音順)
